



小田原市立下中幼稚園
令和3年2月26日

日中の穏やかな日射しから春の訪れを感じます。早いもので、幼稚園に登園するのも残りわずかとなりました。帰りの集まりで卒園式までの登園日数を数えています。そのたびに「えー!!」という声が上がります。子どもたちは、卒園が間近に迫っていることを理解しつつ、まだ実感がない様子も感じます。

つき組では最後にさくら組さんを全員招待して、みんなでお店を開こうと計画中です。卒園に向けての準備を進めつつ、やりたい遊びを楽しむ時間も大切にしていきたいと思います。

節分の日の出来事



節分の少し前から、つき組の郵便ポストに箱根山の鬼からの手紙が届くようになり、昨年の経験や手紙の内容から節分の日に鬼が来ると思っている子どもも多くいました。節分当日はさくら組さんと交代で鬼役になりながら、おなかの中の鬼を退治し、部屋に戻ると、「鬼、来なかったね。」「なんでだろう?」「これから来るのかな?」と『どうして鬼は来なかったのか?』みんなで考えました。『さくら組さんが「幼稚園に来ないでください。」という手紙を書いたから。』と推理する子どももいましたが、『もしかしたら、他のところに行っていて、これから来るかもしれない。』と考える子どももいて、心配なので、絵本や紙芝居で見た節分の魔除けである“ひいらぎいわし”作り門に飾りました。“ひいらぎいわし”の効果か、今年は幼稚園に鬼が来ることはありませんでした。『鬼が幼稚園に来ないように』という思いから、つき組みんなで解決方法を考え、友達と意見を伝え合う体験をする良い機会となりました。



校長先生の 触れ合い授業

下中小学校の校長先生の触れ合い授業を受けました。命令ゲームで心をほぐし、国語、算数、英語、道徳などの授業を楽しく遊びながら体験し、小学校の勉強に期待が膨らむ内容でした。『道徳』の授業では、絵本「いいところ」を見て、絵本の内容や、自分と友達のいいところについて考えました。友達のことは好きだけど、どんなところが好きなのか考えたことがなかったり、好きなのを言葉で表現するのが難しかったりする様子があります。しかし自分や友達のいいところを見付けることは、これから新しい出会いがあるつき組の子どもたちにとって大切にしたい力なので、帰りの集まりでその日の遊びについて振り返りながら、友達や自分の良かったところを報告する時間をつくっています。「〇〇ちゃんがきちんと片付けていた。」「△△くんが作った物が素敵だった。」「みんな卒園式の活動を頑張っていた。」などいいところを教えてくださいました。友達のいいところを見付けることができた子ども、友達に認められた子ども嬉しそうで、そんな子どもたちの様子を見て、心が温かくなります。

友達と力を合わせて



ピザのお皿作り。段ボールを切る人、切りやすいように押さえる人と役割分担をしながら切っています。「お皿の模様はどうする?」と、切った後、皿の模様付けをどうするのか相談しています。



「ここ坂が急で、電車が落ちちゃうよ。」「柱を立てればいいんじゃない。」と作ったコースを使ってみて、工夫したほうが良い部分を見付け、どう直していくのか相談中。



「この壁は虹色にしようよ。」「いいね。」と設計図を作り、友達にイメージしていることを伝えたり、友達の考えを理解したりしながら思いを一つに取り組みます。